

事業評価シート

番号 0660030 - 001

【1.基本情報】

事業名	大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した地域活性化推進事業（岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会）				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	大河ドラマ推進課		
未来地図政策	観光・交流の活性化			政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会
実施期間	平成30年度～令和2年度	根拠法令 関連計画※			

【2.事業概要】

事業の目的	2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の放送を契機に、本市を含めた岐阜県の魅力を全国に発信するとともに、放送開始に合わせて大河ドラマ館を中心とした周遊施策及びイベントによる誘客の促進、更には観光客の受入環境の整備等により、地域の活性化と観光消費の増大を図る。	
事業の内容	大河ドラマ「麒麟がくる」の主人公である明智光秀公ゆかりの県内市町と県等と協議会を組織し、①情報発信（ホームページの開設、PRパンフレットの制作・配布、雑誌への記事掲載等）、②イベント、旅行商品造成等による誘客促進、③受入環境の整備（大河ドラマ館を中心とした周遊施策や既存の観光資源を活用した周遊施策の造成、モデルコースの提案等）に係る取組を行う。	
事業の対象	何を	大河ドラマ館及び岐阜市の観光資源
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民、観光客等(大河ドラマ館入館者数:目標50万人)
	どのくらい (具体的数値で)	令和2年1月～令和3年1月の1年間
令和元年度 (実施内容)	①稲葉山城ゾーン(岐阜城・金華山一帯をいう。)のビジョン構築に向けた検討 ②大河ドラマや明智光秀公にちなんだ土産物、グルメ等の開発 ③PRパンフレット、幟等の作成、④イベント等におけるPR、⑤発表会及び勉強会の開催 など	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		4,121	130	8,840	260
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	4,121	130	8,840	260

(2)物にかかるコスト

		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接経費 【直接事業費】 (B)			700	2,300
	直接事業費の主な内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	負担金		700	2,300
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		0	700	2,300

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	4,821	11,140

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	4,821	11,140

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者		岐阜市民、観光客等	岐阜市民、観光客等
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)		0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	岐阜県大河ドラマ「麒麟がくる」推進協議会負担金	単位	千円
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		700	2,300
実績値		700	2,300

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館の来館者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値		-	100,000
実績値		-	65,206

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本協議会の事業は、令和2年1月の大河ドラマ館のオープンに向けて、県内の関係団体と連携して行う情報発信、誘客促進等に係る取組であり、必要性は非常に高い。 本事業は、大河ドラマを契機とした地域の観光資源のブラッシュアップ、市民のシビックプライドの醸成等に寄与するものであり、本市の観光施策を推進する上でも必要不可欠なものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜県及び構成市町が負担金を拠出し、共同してPR等の事業を実施しており、開館当初からの費用対効果は高かったが、2月末からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大河ドラマ館、岐阜城、金華山ロープウェイ等への入込客数は激減した。 事業の実施に当たっては、本協議会を構成する地方公共団体のみならず、観光協会、民間事業者等とも協議を重ね、連携しながら実施している。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	広域連携による誘客促進であり、有効性は非常に高いが、2月末からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大河ドラマ館への来館者数は目標値に届かなかった。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	本協議会の構成市町の負担割合は、概ね同水準であり、公平性は保たれている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	本事業は、必要性、効率性、有効性及び公平性のいずれも評価は高い。引き続き、関連市町との共同PRなど効果的な観光プロモーションの実施により、ドラマ館の魅力を発信し、誘客促進及び本市のイメージアップに繋げていく。

事業評価シート

番号 0660030 _ 002

【1.基本情報】

事業名	大河ドラマ「麒麟がくる」を活用した地域活性化推進事業(ドラマ館設置運営)				
担当部名	ぎふ魅力づくり推進部	担当課名	大河ドラマ推進課		
未来地図政策	観光・交流の活性化			政策コード	3 - 4 - 0 - 0
実施方法	補助	補助の種類※	加入団体負担金	実施主体	大河ドラマ「麒麟がくる」岐阜実行委員会
実施期間	令和元 年度～ 令和2 年度	根拠法令 関連計画※			

【2.事業概要】

事業の目的	2020年1月から、明智光秀公を主人公とした大河ドラマ「麒麟がくる」が放送される。前半の美濃編では、若き日の光秀公が描かれ、本市ゆかりの戦国武将「斎藤道三公」、「織田信長公」も重要人物として登場することから、本放送を好機と捉え、観光振興による地域の活性化を図ることを目的とする。				
事業の内容	岐阜市歴史博物館2階の総合展示室に「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」を開設し、ドラマに登場する衣装や小道具など、大河ドラマに関する展示に加え、歴史博物館所蔵品を活用した戦国時代の歴史展示等を行う。また、岐阜公園・金華山一帯を稲葉山城ゾーン(光秀エリア・道三エリア・信長エリア)として整備し、周遊観光の促進並びに滞在時間の延長を図る。加えて、来訪者の満足度向上を図るため、受入環境を整備するとともに、積極的に情報発信を行い、誘客促進を図る。				
事業の対象	何を	大河ドラマ館設置による誘客及び周遊観光の促進			
	誰に (対象者・対象者数)	岐阜市民、観光客(大河ドラマ館入館者数:目標50万人)			
	どのくらい (具体的数値で)	令和2年1月～令和3年1月の1年間			
令和元年度 (実施内容)	①大河ドラマ館の設置・運営 ②稲葉山城ゾーン(光秀エリア・道三エリア・信長エリア)の整備 ③受入環境の整備(大型バス駐車場の拡充、臨時駐車場の整備、シャトルバスの運行など) ④誘客促進事業(情報発信、広告宣伝、各種キャンペーンへの参加等)				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

	平成29年度決算額		平成30年度決算額		令和元年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		47,124	1,386
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	47,124	1,386

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
項目	事務局費			14,804
	ドラマ館運営費			294,216
	誘客促進事業費			18,543
	受入環境整備費			60,312
減価償却費【施設管理】※(C)		平成29年度額(千円)	平成30年度額(千円)	令和元年度額(千円)
計(D)=B+C		0	0	387,875

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	0	434,999

【4.収入】

収入内訳	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			71,350
市債			257,000
使用料・手数料			1,763
その他			58,284
計(F)	0	0	388,397

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成29年度決算額(千円)	平成30年度決算額(千円)	令和元年度決算額(千円)
	0	0	46,602

【6.コストバランス】

	平成29年度	平成30年度	令和元年度
事業受益者			岐阜市民、観光客等
受益者数			
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)			0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)			

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	大河ドラマ館及び飲食・物販ブースの開設日数	単位	日
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値			81
実績値			81

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	「麒麟がくる 岐阜 大河ドラマ館」来館者数	単位	人
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
目標値			100,000
実績値			65,206

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか ②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	本実行委員会の事業は、大河ドラマを契機として、戦国武将ゆかりの地・岐阜の認知度向上並びにイメージアップが図られるものであり、必要性は非常に高い。 本事業は、大河ドラマを契機とした地域の観光資源のブラッシュアップ、市民のシビックプライドの醸成等に寄与するものであり、本市の観光施策を推進する上でも必要不可欠なものである。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	岐阜市及び観光コンベンション協会、観光関係団体等が負担金を拠出し、共同して事業運営及びPR等の事業を実施した。開館当初は、大河ドラマ館、岐阜城、金華山ロープウェイ等への入込客数は増加していたが、2月末からは、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、入込客数は激減した。 事業の実施に当たっては、観光コンベンション協会や民間事業者と協議を重ね、連携しながら実施しており、効率的な方法である。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	大河ドラマ館の設置並びに稲葉山城ゾーンの整備、受入環境整備等を図り、観光地としての魅力を向上させることで、開館当初から大河ドラマ館をはじめ、岐阜城や金華山ロープウェイへの入込客数が増加するなど、期待した効果が得られていたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2月末からは入込客数は激減した。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	当実行委員会は、受益者(来館者)からの入場料収入を実行委員会収入として計上し、ドラマ館運営管理費、誘客促進事業費、受入環境整備等に充てている。また、岐阜市内又は山県市内の小学校、中学校等が、教育活動等の一環として観覧する場合、身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳交付者とその介護者1名が観覧する場合などの減免規程を定め、公平な受益者負担に努めている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)-廃止)	現状維持	本事業は、必要性、効率性、有効性及び公平性について、いずれも評価は高い。引き続き、ドラマ館への誘客を促進するため、効果的な情報発信を行うとともに、受入環境の更なる整備に努めることで来館者の満足度向上を図る。